

No.321(一九八七年一月一・二日合併号)から
No.355(一九八七年二月二日)まで

No.321(一九八七年一月一・二日合併号)

◇巻頭言◇向坂先生の著書を読む

◇岩井章氏に聞く

日本労働運動再建への提言①

国鉄闘争の任務と課題

現情勢の特徴と国鉄闘争の展望

―「分割・民営化」反対の旗をさらに高く

国鉄法案通過後の情勢と課題

◇資料と解説◇

人活センター全国連絡会「アピール」

学習会『資本論』第一巻の意義について①

唯物史観と『資本論』

やるしかない！①プリマハムのハチ巻闘争

好評発売中社会通信社判定価四百円

国鉄闘争―勝利への展望

No.322(一九八七年一月一・二日)

◇巻頭言◇社会党運動方針案を読む

◇岩井章氏に聞く②◇

労戦再編成の現状と任務

八七春闘をめぐる情勢と課題

内需拡大論の虚構

―春闘再構築のために―

資料1日経連の内需拡大策

班組織の質的飛躍を

―分会名で全員に文書を郵送―

資料2組合員・ご家族のみなさんに訴える

連載「資本論」第1巻を読む第三十三回

交換過程①

◇読者からのおたより◇語録

「やるしかない！」②毎日五分間集会も

催し物のご案内

No.323(一九八七年二月一日)

◇巻頭言◇憲法があぶない

―「国際国家日本」の背景と本質―

国労単一体は、必ず守りぬける

―電産との決定的ちがい―

資料1

「一月一五日の会」アピール(社会主義協会)

資料2 国鉄をよみがえらせるために

(京都からのアピール)

資料3 国労・六本木委員長の訴え

大合理化に職場からの反撃を強めよう

学習会『資本論』第一巻の意義について③

資本主義の経済的運動法則と歴史的限界

◇読者からのおたより◇語録

◇編集部だより

「ヤルしかない！」③

どんなことがあっても！

No.324(一九八七年二月一日)

◇巻頭言◇断ち切ろう、死の連鎖

S D I と核廃絶

―資本主義の危険性と社会主義の優位性―

大量失業時代の到来

―こんにちの「合理化」の特徴―

理想サイクルと賃金論

―内需拡大論の虚構②―

求められるリ組合らしさ

―労働組合基本調査から―

同盟解散の背景とねらい

資料1 「友愛会議」の運営規則

資料2 中執辞任についての国労の声明

資料3 国労との連帯と共同をよびかける

「たたかいは今から」と三千人

―「国民会議」九段集会の報告―

開き直ってたたかう！

―人活交流集会の報告―

◇語録◇読者からのおたより

◇編集部だより

No.325(一九八七年二月二一日)

◇巻頭言◇自社連合を許すな

反撃に転じる時期がきた

資料1 大転落を重ねる改革協

資料2 改革協の緊急連絡

資料3 進路希望調査結果について

資料4 余部鉄橋現地を行く

資料5 静岡地本・激動の一月二六日

資料6 国労静岡再建委「緊急アピール」

資料7 国労仙台地本「声明」

資料8 国労を守り、反動との対決へ

(社会主義協会アピール)

◇資料と鮮説◇社会党大会について

資料9 空前の危機に際して

(党建協ニュース一号)

資料⑩「党建協」とは

…二当面の任務と性格

資料⑪社会党運動方針案への意見書

(菅原須摩子)

資料⑫社会党大会への意見書

(兵庫総支部)

資料⑬全電通の社会党大会への意見書(要旨)

読者からのおたより

No.326(一九八七年三月一日)

◇巻頭言◇ハリコの虎に驚くな

社会党第五二回大会をふり返って

国鉄闘争の総括と日本労働運動の進路

―国鉄闘争総括の一試論①―

「民営」移行後の電々の職場実態

―背景に一四万人首切り合理化―

連載『資本論』第一巻を読む(三四)

交換過程②

やるしかない④民同の分裂工作

◇パンフレット紹介◇編集部だより

No.327(一九八七年三月一日)

◇巻頭言◇国鉄ページを打ち砕け

国労組合員の差別・選別を許すな

資料1全道集会「要請書」

資料2全道集会「道民へのアピール」

資料3抗議要請書

資料4北海道会議「抗議・要請書」

反失業闘争強化は自らの課題

◇投稿◇自治労「全統一」への疑問

政治問題が前面に ―日経連「労問研報告」について―

連載『資本論』第一巻を読む第三五回 交換過程③

やるしかない⑤ 復帰へのなだれを起こそう!

No.328(一九八七年三月二一日)

◇巻頭言◇箝口令を打破しよう

日教組臨時大会開催と労戦方針

国際通貨体制とG5

政治反動の背景と本質―「綱渡り」の資本主義―

「二・一六集会」の意義と課題 ―大量失業時代と労働組合―

「エイズ騒動」で考えたこと

連載『資本論』第一巻を読む第三六回

交換過程④

◇編集部だより◇パンフ紹介

No.329(一九八七年四月一日)

◇巻頭言◇反合理化闘争の意味を再確認しよう

労戦の右翼再編の本質と現段階

右翼再編と社会党

次のたたかいへの準備は完了―国労第一四八回中央委の報告―

資料国労中央委「アピール」

動労委員長の「核武装論」

「失業の不可避性」をテーマに

―向坂先生追悼の学習講演会―

ソビエト社会主義をつぶさに学ぶ ―第五回労働大学訪ソ学習交流団

八月七日～二二日―

「ヤルしかない」⑤「死地に就かせられる」

◇売上税と「行革」◇読者からのおたより

「よみがえれ国鉄」

三月三十一日集会へのご案内

No.330(一九八七年四月一日)

◇巻頭言◇国労運動前進のために

理論なくして実践はない —和気誠氏の近著を読む—

一九八七年は決定的な年 —ゴルバチョフ書記長の演説—

フィリピンの労働組合運動

「フェダイアン」とイラン革命

民族和解を進めるアフガニスタン

連載『資本論』第一巻を読む(三七) 交換過程⑤

「ヤルしかない」⑥

〃綿密に、慎重に、注意深く〃

資料鉄産労の「大会宣言」

沖電気闘争和解妥結について

No.331(一九八七年四月二一日)

◇巻頭言◇大衆運動を起こす

日教組臨時大会の結果が示すもの

路線問題前面に、右転落ねらう田中派 —日教組問題とこの間の過程—

資料1 臨大の意義、性格と大会運営の考え方

資料2 国労・日教組問題への

全電通委員長の見解

『資本論』を学ぶ②

人間労働と商品価値の実態

「ヤルしかない！」⑦

「君は国労だったのか…」？

No.332(一九八七年五月一日)

◇巻頭言◇タンポポのように花を咲かせる

清算事業団を撤廃し、

全員北海道会社に採用せよ

—国鉄最後の日、激励行動を展開—

怒りを新たにたたかった三・三一行動

—茨城の仲間からの報告—

「ヤルしかない」⑨

〃無償で取返そう〃国鉄を！

◇統一地方選挙をふり返って①◇

対立点があつきりすれば社・共が伸びる

◇『資本論』を学ぶ③◇

商品価値の実態をなす労働について

編集部だより

No.333(一九八七年五月一日)

- ◇巻頭言◇ 春闘と労働運動の進路
統一地方選挙をふり返って② 全電通の「社会党ジャック」を許すな
「総評解体の危機」とたたかう
階級的ナショナルセンターの骨格(案) 岩井章
「労戦統一」をめぐる総評の動き —総評第二回拡評(三月二〇日)について
国労に新たな攻撃 —労働協約改訂への体制を強めよう—
資料国労と新会社の「労働協約」(要旨)
資料総評・労戦統一への
当面のとりくみについて
「アジア平和の船」に参加しよう

No.334(一九八七年五月二一日)

- ◇巻頭言◇「貿易戦争」と日米関係
機会均等と未未への権利 —フランスの学生ストについて—
◇投稿◇元気のでてくる選挙結果
◇資料と解説◇ 「党建協」設立総会に参加しよう
資料①「党建協」設立総会のご案内
資料②国労と新会社の「労働協約(要旨)」
民間企業でも首切りの嵐
◇『資本論』を学ぶ④◇
価値形態論の意義と課題
「ヤルしかない！」⑩ひどい「凄惨」事業団
新刊書のご案内 労働戦線の全的統一と全民労連の発足

No.335(一九八七年六月一日)

- ◇巻頭言◇「党建協」総会に参加しよう
高揚するチリ人民のたたかい
—弾圧は新たに強化—
民営化から七千人合理化へ
—民営移行後の日本たばこ—
電々「民営化」攻撃の実態と闘いの課題
◇佐賀の仲間からの報告◇
史上最高得票で勝った！
◇『資本論』を学ぶ⑤◇
価値形態論の意義と課題②
「国民会議」全国交流会に一三〇人
◇編集部だより◇読者からのおたより
新刊書のご案内 労働戦線の全的統一と全民労連の発足

No.336(一九八七年六月一日)

◇巻頭言◇再び「党建協」結成総会について
首切り収容所の実態

―北海道の「清算事業団」訪問記―
労働基本権確立、反失業闘争へ

―「国民会議」全国交流集会は大成功―
私鉄労働運動の戦闘性を守れ

―私鉄の仲間が

「先輩の意見を聞く会」を開催

◇資料と解説◇「総評解体」を明文化

―総評一九八七年度運動方針案について―

資料1 総評運動方針案

「労働戦線統一の推進」

資料2 都知事選と労働戦線のこれから

連載『資本論』第一巻を読む第三八回

価値の尺度①

◇編集部だより◇読者からのおたより

No.337(一九八七年六月二一日)

◇巻頭言◇「作業ダイヤ」で長期闘争の砦に
総評解散を許すな

―大衆闘争でこの策謀を粉砕しよう―

総評の「全統統一」論はナダレ込み

―労働戦線「統一」問題の現状と課題―

資料1 総評運動方針案

―運動の基調―
士気を高める

フィリピン訪問記

機械は労働者を駆逐する

◇資料と解説◇「党建協」結成総会に五百人

資料2 党建協とは―性格と

当面の主たる任務

資料3 基調報告

資料4 アピール

◇編集部だより

◇新刊書のご案内

労働戦線の全統統一と全民労連の発足

No.3338(一九八七年七月一日)

◇巻頭言◇家族的な団結をつくる

社会党の基本路線を守る

―「党建協」結成総会に五百人余―

資料1「党建協」総会での代表あいさつ

資料2「党建協」規約

資料3全電通委員長の「読売」での

インタビュー

吹き荒れる石炭合理化

―生き、働き続けるために―

日本におけるスパイ活動

「ヤルしかない！」①明日では遅すぎる

連載『資本論』第一巻を読む(三九)

価値の尺度②

◇編集部だより◇読者からのおたより

六・二七労戦問題シンポジウムへのご案内

No.3339(一九八七年七月一日)

◇巻頭言◇

清算事業団各支所を「闘いの砦に」

「右翼労戦反対」の総学習、総行動を

―『労戦統一と全民労連』で

訴えたかったこと①―

長期方針の確立に向けて全力をあげよう

―国労第一四九回中央委員会から―

◇資料と解説◇

鉄道労連、やっぱり空中分解

資料1 鉄労の動労への申し入れ

資料2 鉄労からの申し入れについて(動労)

資料3 動労委員長のあいさつ

軍政継続のたくらみ破綻

―南朝鮮をめぐる情勢の特徴―

首都東京の社会党、いっそう深刻化か?

―異常な定期大会運動方針―

資料4 社会党都本部活動方針(草案)から

No.340(一九八七年七月二一日)

◇巻頭言◇経済から政治へ

ベネチア・サミットについて

総評解散阻止が最大の課題―労働運動の動向と労戦「統一」問題―

資料1 労研センターのよびかけ

総評の「全的統一」方針に強く反対

昭和電工の労務政策と労働者意識―資本の小集団活動とたたかう―

法を無視したリ出向リの強行―JR東日本は労働委員会の勧告を守れ―

いたずらか、故意の挑発か?―西独市民のソ連領空侵犯について―

資料2 各地方労働委員会の勧告・要望

◇編集部だより◇読者からのおたより

好評発売中労働戦線の全的統一と全民労連の発足

No.341(一九八七年八月一日)

特集「六・二七」シンポジウムの報告①

◇巻頭言◇総評解体とたたかう

主催者あいさつ 三木信之介

労戦再編をめぐる情勢の特徴と任務 岩井章

総評「全的統一論」の虚構をあばく 山田宏二

社会党都本部大会、良識派が元気に ―政構研グループの亀裂ひろがる―

「八・二一」シンポジウムのご案内

新刊紹介 労働戦線の全的統一と全民労連の発足 好評発売中定価千円

No.342(一九八七年八月一日)

◇巻頭言◇

総評大会の意味とわれわれの方針

特集・六・二七シンポジウムの報告②

労戦再編成と社会党のゆくえ高沢寅男

労戦の右翼再編とかく闘う横堀正一

「総評解体」を許さない坂牛哲郎書

職場の組合員の心をつかむ三木信之介

悲しき転向

新刊紹介「国鉄闘争とわれわれの提言」

読者からのおたより

八・二一労戦問題シンポジウムのご案内

好評発売中

労働戦線の全的統一と全民労連の発足

定価千円(〒二百円)

No.343(一九八七年八月二一日)

◇巻頭言◇東芝機械問題とココム

総評大会の結果とわれわれの課題

―労戦「統一」問題と当面の任務―

資料1 全港湾・国労の修正案

資料2 統一労組懇系四単産の修正案

資料3 都職労委員長の

自治労本部への意見書

資料4 自治労代議員八名の態度表明

資料5 七・六集会「基調報告」

施行四〇年、憲法はいま

―国家秘密法が狙う本当の理由―

◇投稿◇「党建協」をつくる

第三回平和の舟に参加して福地一郎

連載『資本論』第一巻を読む(四〇)

価値の尺度③

「ヤルしかない」⑫ 酒井安海氏の作風

読者からのおたより

「八・二一」シンポジウムのご案内

No.344(一九八七年九月一日)

◇巻頭言京都からのアピール◇

日本労働運動の階級的伝統を守るために

「右翼労戦反対」の総学習・総行動を

―『労戦統一と全民労連』で訴えたいこと

資料1 討議のための岩井私案

新しい波は北海道から

―八月二日、「北海道党建会」を結成―

組合大会の中間総括①

総評解散は必至の情勢に

全的統一論をみずから否定

―組合大会前半の主な傾向―

総評方針決定で総評は「死に体」に

「連合」一色の電機労連大会

全電通は「一九八九年達成」を強調

全通は全電通と共同歩調

全郵政は全通の提唱を拒否

黒川あいさつを鋭く追及(私鉄)

「学習会」への参加要請

No.345(一九八七年九月二一日)

◇巻頭言◇

非武装中立・憲法擁護で結集しよう

「自治共和国」の混乱

資料1党の基本政策について(山口見解)

資料2北海道「党建会」の結成にあたって

組合大会の中間総括②

石油、紙パ、化学では左派が排除

全国一般では新たな動き

政労協では原案不採択

統一労組懇談会に三つの特徴点

軍事政権ゆさぶる労働争議

―リソウルの春リはるかにしのぐ―

緊迫化するペルシア湾情勢

中米情勢は新たな段階に

「ヤルしかない！」^⑬

「盗聴にフタをする暴力装置」

No.346(一九八七年九月二一日)

◇巻頭言◇九・五―六全国学習会アピール

労戦再編成と「社・民の和解」

―労働組合大会の中間総括③―

島田琢郎前代議士の引退表明に寄せて

―社会党の基本路線「変更」は認めない―

強制「出向」と闘い続ける

資料1階級的ナショナルセンター確立の展望と骨格(統一労組懇)

「全民労連」で権利は守れない(佐賀)

千代田の「党建協」に全力(東京)

だから「総評解体」を許さない(兵庫)

書評『総評が消える日』を読んで

投稿「総評解体に反対する連絡会」を

連載『資本論』四―価値の尺度④

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.347(一九八七年一〇月一日)

◇巻頭言◇全民労連の運動方針案

特集九・五―六「全国学習会」の報告①
主催者あいさつ

われわれの「ペレストロイカ」を！

開会あいさつたかいはこれから

第一講座労戦の右翼再編の現状と任務

総評地域労働運動集会を根絶やすな

地域運動の継承・発展をめざす

全国集会のよびかけ

書評

「労働戦線の全的統一と全民労連の発足」

◇資料と解説◇

「党建協」が山口見解を批判

資料書記長見解について(党建協)

新刊紹介「労働戦線オルグノートNo.1」

一〇月一日発行定価五〇〇円(送料込み)

お申し込みは社会通信社へ

No.348(一九八七年一〇月一日)

◇巻頭言◇

社会党の基本政策変更を阻止するために

特集九・五―六全国学習会の報告①

第二講座社会党の基本路線

をめぐる情勢と「党建協」

第三講座総学習・総行動運動の展開方法

まとめ総評解体阻止、

社会党基本政策変更を阻止するために

東京で最初の旗上げ

―「千代田党建協」結成総会成功裡に終了

若者が先頭に立て！

―八・二一シンポの意義―

ペルシャ湾と中曽根政治

「全的統一」を反撃の力に

―全国の自治労の仲間へ―

一〇・九集会にご参加を！

各地ですすむ「反全民労連」のたたかい

No.349(一九八七年一月二一日)

巻頭言◇地域労働運動の継承・発展のために
広がる熱意と自発性

―「十・七大阪集会」の成功をめざす―

「連合」発足に「反首切り・反行革闘争」を

―大阪総評大会の報告―

日教組有志が全国代表者会議を開催

―注目される日教組の動向―

資料1全国代表者会議(第二回)

開催のよびかけ

資料2全国代表者会議(第一回)

「声明」

守勢から攻勢への出発点に

―国労大会の報告―

◇資料と解説◇核廃絶への大きな一歩

資料3米・ソ共同声明

社会党が「党改革」でブロック会議

資料4「組織改革の具体的構想(案)」への意見書

書評「喜怒哀楽の交通学」

◇「社会通信」創刊一〇周年記念◇

「十一・七全国学習会」のご案内

◇読者からのおたより◇各地の運動

十・二五「党建協代表者会議」に参加しよう

No.350(一九八七年一月一日)

◇巻頭言◇

本誌十周年記念「全国学習会」にご参加を

特集地域労働運動の継承・発展へ

総評中央方針に強い批判

―全国地県評の方針、大会の特徴点―

「店じまい」に一定の歯止め

―兵庫県評第三五回大会の報告―

労戦統一と全国地県評の方針①

はじめに

一、総評の労戦統一方針

二、ナショナルセンターの労戦統一方針

◇全民労協◇同盟◇中連

三、全国地県評の方針

No.351(一九八七年一月一日)

◇巻頭言◇各地の集会はどこも大成功
大阪集会三二千百人で大成功

資料1 一〇・七大阪集会「アピール」

資料2 島根県集会での岩井講演要旨

資料3 修善寺大会一周年「アピール」(東京会議)

資料4 国民の声に依拠した社会党を(国労東京青年部)

◇資料と解説◇

日教組大会「十一月十一日」開催へ

資料5 日教組第六四回定期大会成功のために

大衆のなかへ―国労の仲間へ

労戦統一と全国地県評の方針②

新刊紹介「社会党がなくなる？」

社会通信十周年「全国学習会」にご参加を

No.352(一九八七年一月二一日)

◇巻頭言◇「社会通信」創刊十周年を祝す

首都東京に「党建協」

社会党解体阻止へ、徹底した下部討議

資料1 安保自衛隊と「永世中立宣言」に関する提言(党建協)

資料2 党の基本政策を堅持する決議 ―社会党千葉県本大会の報告―

資料3 党改革に関する報告についての

決議案(習志野総支部)

資料4 社会党千葉県本大会「大会宣言」

読者からのおたより

労働戦線統一と全国地県評の方針③

労働戦線統一と全国地県評の方針③

No.353(一九八七年二月一日)

◇巻頭言◇「全民労連」に未来はない!

総評中央方針に強い危機感―全国地県評方針をまとめて―

社会党を守るために戦線を拡大―新潟「党建協」結成総会の報告―

また出た日本共産党の悪いくせ

闘う総評の伝統を守り発展させよう―十二・三奈良県集会の成功を―

問われる「反自衛隊」の視点・

―日米合同軍事演習集会に参加して―連載「ヤルしかない!」⑭

闘いの領域の拡大

労戦統一と全国地県評の方針④

社会通信号外労戦統一と全国地県評の方針

No.354(一九八七年二月一日)

◇巻頭言◇

「反全民労連」の具体的たたかいを
「下から」運動をつくる

―佐世保地区集會に三百人―
全民労連は歴史のあだ花

―一・一九青年集會報告―

資料1二・一五全道シンポジウム

「アピール」

資料2二・二〇京都集會「宣言」

―〇月革命とペレストロイカ

―ゴルバチョフ演説要旨―

右翼再編ゴリ押しに一定の歯止め

―三多摩労協大会の報告―

社会党を守るために

◇全通の仲間から◇郵便営業時代を切る

連載『資本議』第一巻を読む(四二)

価値の尺度⑤

「連合」の歌パロディ―

◇読者からのおたより◇編集部だより

社会通信号外発行定価六〇〇円

労戦統一と全国地県評の方針

No.355(一九八七年二月二日)

◇巻頭言◇全民労連の発足とわれわれの方針

特集十一・七シンポジウムの報告①

記念講演岩井章

社会主義と労働運動を考える

特別講演上野建一

最大の問題は組織改革

報告①国労平野雅俊

清算事業団の実態と闘い

連載『資本論』第一巻を読む(四三)

価値の尺度⑥

「社会通信」号外のご案内

労戦統一と全国地県評の方針―